

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-4-1	事業名	大通公園スケーティング・スクエア事業	
担当	観光文化局観光コンベンション部観光企画課 北村 211-2376			
全体計画				
事業内容	冬の大通公園における新たな魅力づくりのために、かつて札幌の冬の風物詩であったスケートリンクを大通公園1丁目に設置し、ニューヨークのロックフェラーセンター、セントラルパークのような、摩天楼の中に人の集う憩いの場所を創出する。札幌中心部のテレビ塔やビルに囲まれたリンクは、夜間のライトアップ等により、幻想的な魅力から札幌の新たな魅力として冬の新名所となり、市民はもとより世界中からの多くの観光客がこのスケートリンクに憧れて来札されるような魅力づくりを実施する。		<年度別の事業内容>	
			平成19～22年度 ・スケートリンクの設置及び観光客誘致の促進	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>【事業概要】 設置期間:2月4日～11日 10:00～20:00 設置場所:大通公園1丁目 利用人数:5,083人 雪まつり大通会場1丁目の会場管理者であるジェイコム札幌を中心に、実行委員会を立ち上げ、スケートリンクを設置。オープニングセレモニーには、上田市長、橋本聖子国会議員も出席し、盛大にリンク開きを行った。最高5時間待ちとなるなど、多くの人で賑わいを見せた。</p> <p>【事業費】 収入 ・札幌市負担金 7,000千円 (株)ジェイコム札幌負担金 5,998千円 雑収入 2千円 合計 13,000千円 支出 ・スケートリンク造成及び維持管理費 13,000千円 合計 13,000千円</p>		<p>【事業概要】 設置期間:1月22日～2月11日 10:00～18:00(雪まつり期間～20:00) 設置場所:大通公園1丁目 利用人数:10,374人 昨年同様に、実行委員会を立ち上げ、大通公園西1丁目にスケートリンクを設置。開催期間を延長したことや、リンクサイズを拡大したことにより1日最大1497名を数え、雪まつりの週末3日間は、大いににぎわい昨年以上の盛況となった。</p> <p>【事業費】 収入 ・札幌市負担金 14,000千円 (株)ジェイコム札幌負担金 13,466千円 合計 27,466千円 支出 ・スケートリンク造成及び維持管理費 27,466千円 合計 27,466千円</p>	
事業内容	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>【事業概要】 設置期間:1月29日～2月11日 10:00～20:00(雪まつり期間～21:00) 設置場所:大通公園1丁目</p> <p>昨年同様に、実行委員会を立ち上げ、大通公園西1丁目にスケートリンクを設置。開催期間については、昨年度の雪まつり期間前の平日の利用人数が思うように伸びなかったことから、昨年より1週間短くし2週間とするが、1日あたりの営業時間を延ばすことと、効率的運営を行うこととする。</p> <p>【事業費】 収入 ・札幌市負担金 12,500千円 (株)ジェイコム札幌負担金 12,500千円 合計 25,000千円 支出 ・スケートリンク造成及び維持管理費 25,000千円 合計 25,000千円</p>			
事業内容				
場所				
規模				
件数				
等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-4-1			事業名	大通公園スケーティング・スクエア事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
利用者数	-	5,083人	10374人	1万人	1万人	1万人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市民に対しては、各メディア及びホームページ、リーフレットを通し、適時情報提供を行い、周知を図りながら、事業を推進していくよう努めた。また、外国人観光客の対応のため、外国語ボランティアにもご協力いただいた。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 会場管理者からの協力 [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 会場管理者であるジェイコム札幌と連携し、広く協賛企業を募った。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>本事業を実施したことにより、スケートをしながら雪氷像を見ながらというシチュエーションをつくり、雪まつりに新たな魅力を加えることができた。また、昨年の雪まつり期間5083名を大幅に上回る7639名が利用したことで、着実に新たな雪まつりの楽しみ方になってきているものと考えられる。</p> <p>さらに、最高2時間待ちになるほどのイベントであることから、大きな集客交流資源へと成長するものと考えられる。</p>				<p>期間の延長及びリンクの拡大により、待ち時間については改善することができたが、雪まつり会期前の平日の利用人数が思うように伸びなかった。</p> <p>また、引き続き安定した運営を行うため、本市の支出負担や事務量の軽減を図りながら、今後も広く協賛・協力を募り、事業費の確保を図る必要がある。</p>			
<p>時間延長などにより、来客数の増加を図り、また、市民にも気軽にスケートを体験できる機会を提供することで、冬期間の楽しみの一つとして再認識していただき、市民生活の向上にも資する。</p> <p>運営については、今後も雪まつりの会場管理者と連携し、本市の支出負担や事務量の軽減を図る。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-4-1			事業名	大通公園スケーティング・スクエア事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	25,000	45,000	45,000	45,000	160,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	18,000	25,000	25,000	25,000	93,000				
一般財源	7,000	20,000	20,000	20,000	67,000					
予算	事業費	7,000	14,000	12,500	-	33,500				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の	0	0	0		0				
一般財源	7,000	14,000	12,500		33,500					
実績	事業費	7,000	14,000	-	-	21,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0			0				
	市の債	0	0			0				
	その他の	0	0			0				
一般財源	7,000	14,000			21,000					
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					20.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
計画では直営方式を想定して事業費を見込んでいたが、実際の事業実施にあたっては、実行委員会方式を採用したことによりその他協賛収入等(計画事業費:19年度18,000千円、20~22年度各25,000千円)は計上しなくなった。このため計画事業費と予算事業費に差異が生じている。ただし、これは事業の実施方法に変更があっただけであり、実施内容には変更はない。										
[19年度]										
[20年度]										
平成20年度は、リンクのサイズの拡張や開催期間の延長のため、事業費の再精査を行い、14,000千円の事業費で行うこととした。										
[21年度]										
平成21年度は、事業費圧縮に伴い、開催期間を1週間短くしたが、営業時間を延長することで、昨年同様の入場者数を見込む。										